

シャローム



どこまでも主に信頼せよ、
主こそはとこしえの岩 (イザヤ 26章4節)

2022年
夏号



画 水谷泰子

目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —

One for all, All for one みんなで力を合わせて

洗礼おめでとう	・・・2p	ミサの式文が新しくなります	・・・10p
堅信おめでとう	・・・4p	財務報告	・・・13p
教会委員紹介	・・・6p	教会の動き	・・・15p
日曜学校だより	・・・8p		

洗礼

おめでとうございます

6月5日10時30分のミサで洗礼式が行われました。新しい命、新しい家族の誕生です。神さまありがとうございます！



き上がってきました。入門を試みるも諸事情によりプロテスタントで受洗。神様のお導きによりやつと信徒になりました。

(6月11日改宗)

カトリック系高校の頃から57年間洗礼を受けることを考え続けてすっかり年老いてしまいました。今は長い巡礼を経て辿り着いたように思えます。そしてまた新たな旅が始まります。

吉祥寺教会を初めて訪れたのはクリ

幼稚園がカトリックで、その雰囲気がとても好きでした。家は違う宗教だったので教会とは無縁でした。親の死が身近に迫った頃、ふっと主の祈りが心から湧

スマスのミサでした。どんなところなのだろうと不安や緊張感を覚えました。夫がクリスチャンということもあり、勇気を出して足を運んでみました。

そこでは、小さな子供たちから御老人の方まで、世代を問わずたくさんの人々が同じ空間に集まり、喜びを分かち合っているのが印象的でした。普段の生活でこのような体験をすることはほとんどなかったため、とても暖かい気持ちになると同時に、人々をつなげる一つの大きな力の存在に気づきました。

その時、私もその一員となり、世代を超えた人々との交流を通して皆様と生きる喜びを分かち合いたいと考えました。

カトリックの高校に通っていましたが、卒業後はすっかり神様から離れた生活を送っていました。しかし約2年前に不思議な天のお導きで、偶然にも高校と同じカトリックの関連施設で働くことになり、丹羽先生のお言葉にも助けられ、この度洗礼を受けることができました。

洗礼おめでとうございます！

長年にわたりキリスト教について関心を持ってきました。令和元年、五島列島を旅して島内に創意工夫され造られた多くの教会を巡る中、島中にただよう豊かな雰囲気魅せられ、一気に入信を決意することができました。人生の幸せを感じています。

わたしはいつごろからなのかわ覚えていませんが、小さいころからマリア様を信じていました。ずっとずっとカトリックに対して興味がものすごくありました。

大聖年にはヴァチカンにも赴きました。とても良い体験をしたと同時に、入信したいという気持ちはもっと大きくなりました。

それから何年も経った今ですが、ようやく晴れてカトリック信徒となることができ、心から嬉しいです。

信徒の皆様、いたらない面ばかりですが今後ともよろしく願いいたします。

自らの愚かさと迂闊さ故、何度も死ぬような目に遭い人をも殺すところでした。その都度、神の名を呼び救いを求め幸いなことに大過なく生きてこられたのは、この罪深い我をも主は見捨てず憐れんでくれたからです。

若き頃より敬愛してきたシンガー、パウロ高田渡の帰天を契機に、主は我を吉祥寺教会に招き入れ、彼の葬儀・追悼の集いにて後藤神父を示され、ようやく私も神の子羊の末尾となれました。主の奇しき計らいに驚きと共にただ感謝!!です。

受洗の恵みを賜れました事、心より感謝を申し上げます。私の始まりは、出かけた先で時間をつぶす事になり歩いていたところ、カトリック教会がありました。キリスト教の事はあまり身近に感じず、いつもでしたら素通りしていたと思いますが、その日は中庭に入りました。そこにルルドのマリア様がいらっしゃいました。

それから講座があると知り出席させて頂きました。とても緊張していた事を覚えています。
これから教えて頂くことが沢山有ると思います。未熟で至らない私ですが、皆様宜しくお願い致します。

☆☆☆「よろしく申し上げます！」「こちらこそ！」☆☆☆

堅信

おめでとうございます

6月12日、菊地功大司教の司式により
堅信式が行われました。



先日、下校中にバス停でバスを待っていた時、二人の女性が言い合っていて、何か軽い事故のようで、片方の人が謝っていて、もう一人が怒っていました。

その人が何度も謝っているのに、激昂しているのを見て、何故謝っているのに怒っているのかと思うと同時に、聖書のマタイの15章22節のイエス様の「7の70倍までも許しなさい」という一節を思い出しました。

この堅信を機に、イエス様の教えに従って、日々を生きていきたいと思えました。

菊地大司教様の司式のもと、無事に堅信を受けることができました。

コロナ禍で堅信式を行なうことはいろいろと大変だったと思いますが、大司教様をはじめ、準備をしてくださった全ての方々に心から感謝しています。

私は幼児洗礼を受け、幼稚園の頃か

堅信おめでとうございます！

らカトリックの学校に通っていました。中学に上がると学校生活が忙しくなり、最近日は曜学校にもなかなか行けていませんでした。さらにはコロナ禍ということもあり、教会から少し離れてしまっていたここ数年だったと思います。

大司教様のお説教にもあった通り、私は沢山の人に支えられて生きていくということを忘れずに、日頃から感謝の気持ちを持って過ごしているように思います。

小さいときに洗礼を受けてから、学校がカトリックだったこともありキリスト教がとても身近な存在でした。しかし、中学受験やコロナ禍だったこともありなかなか教会に行けずになりました。そんな中、堅信を受けることとなり勉強会に参加し宗教特有の面白さを再確認出来ました。

今回、堅信を受けてキリスト教をもっと知りたいという思いがより一層強くなりました。これからも、沢山学んでいきたいです。

私は今回の堅信のために久々に教会で勉強し、ミサも久しぶりでした。

というのも、ボーイスカウトの活動で来られないことが多かったからです。

他の人と比べてキリスト教について考える機会は少なかつたと思いますが、こうして堅信を受けたことで、またキリスト教について考える機会になり、これからは今までより少しでもキリスト教のことを考えていけたらいいなと思いました。

コロナ禍のなか、今年もこのように大変貴重な堅信式の機会をくださり、本当にありがとうございます。関わってくださった全ての皆様に感謝いたします。重要な七つの秘蹟の一つである堅信を受け、今まで以上に、神さまのこどもであることを実感できました。

私がさらにキリスト教を大事に思う心を大きくするなかで、その前向きなス

タートを聖霊がサポートし、全能の父である神と主イエス・キリストの御加護がありますように。

さあこれからは教会を育てる側に！一緒に頑張りましょう♪

One for all
All for One

■ 2022年度・年間テーマ

「みんなで力を合わせて」

教会委員長

「One for all All for one」は、アレクサンドル・デュマの小説「三銃士」に登場する言葉で、日本ではラグビーの精神を表す言葉として有名です。じつはこの名言の本当の意味は、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ではなく、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」であります。

新型コロナウイルス感染症対策による「人と密にかかわらないこと」や、ウクライナ情勢にみられる「話し合いではなく力による現状変更」などが、いま、私たちが大切にしてきた「思いやりと協調の精神」に影響を及ぼしています。こんな時代だからこそ、私たちは、イエス様が教えられた2つの掟、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい』『隣人を自分のように愛しなさい』を思い起こし、協調して、助け合ってい

なければならぬのだと思います。

年間活動テーマの根幹には、大きなテーマがあります。カトリック東京大司教区の宣教司牧方針の「教会の取り組み」に示された、『出会い、つながり（交わり）、一致する共同体』です。教会は、イエス様の教えに触れ、分かち合う場であると同時に、ひとつの共同体です。信徒の皆様一人一人の違いを活かして、支えあい、よりよい未来を模索し、継承していくことが、個人の成長とともに、共同体としての持続と発展につながります。一人一人が、「みんなのために、共同体のために」思いやりをもって、力を合わせていきましょう。

また、2021年度の活動テーマ「One Team Spirit(一人一役)」に則った、一役お手伝いについても、継続して募集しておりますので、よろしくお願ひいたします。

2022年度

教会委員紹介

今年度は4名の新任、昨年からの継続5名、協力委員(教会委員会には出席せず、ミサ案内や行事等の手伝いをする委員)2名の11名が教会委員を務めます。どうぞよろしくお願ひいたします。今年度の抱負と共に紹介します。

話を聞き、理解に努めること。公平であること。先を読んで対応すること。これらを念頭に、職務遂行させていただきます。

教会委員紹介

一日二日、一週一週、一月一月、一つ一つの典礼を、着実に積み重ねる。

昨年度は音響担当を新設し、聖堂の音響改善をし、駐車駐輪予約をWeb化しました。本年度も得意分野を活かして教会の発展に貢献して参ります。

教会の奉仕をして下さっている信徒の方々と力を合わせて吉祥寺教会を盛り上げていきたいと思っております。

海外戻りで悩み多き私に、マリア様は優しく微笑んで下さった。私も皆様が安らぎを感じる教会づくりを目指したいと思っております。

受洗してから10年目の今年、まだ自信も知識もありませんが、お手伝いの機会をいただき感謝しております。皆様、ご指導お願いいたします。

教会委員2年目となりました。より良い典礼にするため、お手伝いさせていただきます。よろしくお願ひします。

教会の敷居をまたいで日も浅く、無知至極で恐縮ですが、皆様にご迷惑をおかけせず、一助となれたら幸いです。

経験がないので不安ですが、みなさんのお手伝いができれば嬉しいです。よろしくお願ひいたします。

〈協力委員〉

「キリストの平和が我々の心を支配し、キリストの言葉が我々の内に豊かに宿りますよう、祈る一年としたい。」

「吉祥寺教会共同体の全てのメンバーが、私たちと呼べる仲間となる。」

日曜学校だより



日曜学校 Q&A

Q. 吉祥寺教会の日曜学校ってどんなところ？

A. 毎月 第1・第3日曜日の9時ミサから始まり、ミサ後クラス別にリーダーと一緒に学びます。今年度は小学生26人と中学生11人が参加しています。

Q. どんな子どもが入れるの？

A. 小1～中3・吉祥寺教会所属の信者

子どもは未信者でもかまいませんが、家庭での信仰教育の大切さをふまえて、少なくとも父親か母親が信者であることが望ましいです。それ以外の希望者は主任司祭にご相談ください。

Q. どんなリーダーがいるの？

A. 高校生・大学生・社会人・神学生がいます。リーダーはみんな教会が大好き、子どもが大好き。子どもに教えることで、自分たちの学びを深めています。会館3階にリーダー室があります。

担当司祭より

信者の皆さん、子供達はみんな希望の星であり、「宝物」だと思います。教会にとって、子供達は教会の未来です。聖書では、イエス様は子供達を最大限に祝福し歓迎します。イエス様ご自身が「子供達を来させなさい。わたしの所に来るのを妨げてはならない。天の国はこの様な者たちのものである。(マタイ 19:14)」と弟子達に仰いました。

イエス様が子供達をとっても愛しているように、親も子供達に神様を知る機会をもっと与えて頂きたいと思えます。カトリックでは、日曜学校の活動があります。日曜学校では、教会活動に奉仕することの大切さ、そして自分に与えられた役目を学ぶことが出来ます。子供達には日曜学校での活動を通して、信仰を持って成長し、神様に見守られながら、他の友達と交流し、精神力の強い個人になってほしいと願っています。どうぞ子供達一人一人が将来の「輝く星」となる為に、リーダーへのご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。神様の祝福と共に、今年も予定されているすべての日曜学校の活動がうまくいきますように祈ります。 アンディ・ファニ

皆さん、こんにちは。ここ2年間はコロナ禍で、日曜学校だけでなく、日常においても様々な制限がなされる中で過ごされていると思えます。

今年からは何とかコロナ前に近い形での日曜学校、そして教会活動を少しずつでも再開出来ればと考えています。

子どもたちの参加はもちろんですが、ご両親、保護者の皆さんの協力のもと、日曜学校をさらに盛り上げていければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。 荒田啓示



～今年の待降節から～

ミサの式文が新しくなります 【その3】

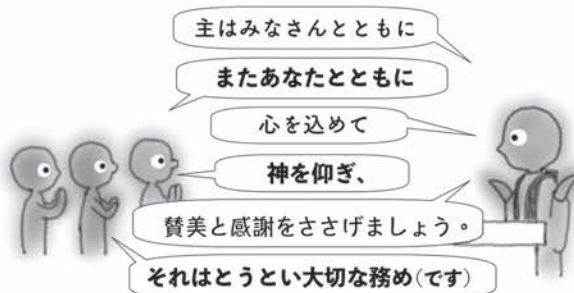
助任司祭・荒田啓示

奉献文に注目しましょう

対話句の受け応えの呼吸が変わります。その背景について解説してもらいました。

『新しい「ミサ式次第と第一〜第四奉献文」の変更箇所』（以下、新式次第）の中では、奉献文の冒頭にある信徒の応答部分に変更が加えられています。奉献文とは、感謝の典礼の前半部分であり、司祭が会衆を祈りに招いて唱える叙唱から始まって、ドクソロジーと呼ばれる結びの栄唱（キリストによって、キリストとともに…）で締められる感謝と聖別の祈りのことを指します。

新式次第では、奉献文というタイトルの横に括弧付きでエウカリステシアの祈りと書かれています。ただエウカリステシアとはこういう意味だ、と一義的に定めて説明することはできません。エウカリステシアは新式次第にある通り奉献文であり、聖体そのものであり、感謝の祭儀、主の晩餐の秘跡であるのです。そのどれもが「感謝」、エウカリステシア



英語のミサでは、叙唱の前に以下の通り三組の対話句が唱えられています

(司祭) The Lord be with you
(会衆) And with your spirit
(司) Lift up your hearts
(会) We lift them up to the Lord
(司) Let us give thanks to the Lord
(会) It is right and just

という語が持つ元々の意味を共有しています。その意味で、私たちはこのエウカリステシアの祈りを「感謝の祈り」と理解し、救いのわざ全体に対して神に感謝がささげられ、祭儀におけるささげものがキリストのからだと血になることを祈るのです。

さて、従来のミサでは叙唱の初めに司祭が会衆を祈りに招いた後、「心を込めて神を仰ぎ」と唱え、会衆もそれに応答する形で「賛美と感謝をささげましょう」と唱えます。

しかし今回の変更では「心を込めて」と「神を仰ぎ」を一つの対話句として分け、「賛美と感謝をささげましょう」という言葉を会衆ではなく司祭が唱え、またさらにその応答として会衆が「それはとうい大切な務めです」と答える形になり、三つの対話句が唱えられることになりました。これはエウカリステシアの祈りが持つ「感謝」の意味を、よ

り豊かに表現するための変更である、と新式次第に説明されている通りです。英語ミサでは既にこの形に沿って唱えられています。

新式次第では対話句が一つ増える形となりますが、

この対話句は元々三組で成り立っていたもので、新しく追加されるといよりは、むしろ教会の伝統に立ち返る形になるものです。ミサ全体の中心である奉献文の始まりに、「感謝」の意味をしつかりと込めて祈る、ということを中心に留めながら、この対話句を唱えるようにしましょう。

変わらないこと 何よりも大切なこと

これまでシャロームの中で全3回にわたって、新式次第における変更部分を一緒に考えてきました。司祭にとっても、会衆にとっても、変更点がいくつもあり、これまでと全く違うミサが始まってしまいうにも思えます。

唱える言葉において多くの変更点がありますが、ミサ自体が、主の晩餐の秘跡自体が変わってしまうわけではありません。昔も今もこれからも、ミサが秘跡として持っている本質は変わることがないのです。

「良いミサ」とはどういうものか、と問われた時、私たちは何を思い浮かべるでしょうか。言葉や所作が完璧であること、典礼注記(ルブリカ)に忠実であること、司祭も侍者も動きを失敗しないこと、聖堂に

飾られる花や装飾が綺麗であることなど、各々が自分にとって「良い」と感じるミサの形は様々であると思います。もちろん、こうしたこともミサを彩る「典礼」として大切なことであり、決してどうでもよいとすべきことではありません。しかしながら、そればかりに注目してしまい、ミサが間違い探し現場になってしまったり、ミサ自体の本質を脇に置いてしまったりするようでは、せつかくの彩りも、本当の役割を果たすことはできないのです。新式次第における様々な変更についても同じことが言えます。

私たちのミサは、イエス・キリストの過越秘儀を、司祭と信徒が共同で、アナムネーシス(記念、想起)する祭儀であることが、教会の確信であり、最も大切にすべき本質であります。この祭儀を行うこと、そしてあづかることを共に心から望み、共に記念することができた時、それが「良いミサ」であると言えるでしょう。言葉が変わってしまう、所作が変わってしまう、そうした以前と違うものに抵抗を感じるのは当然のことですが、「変わってしまうこと」にばかり目を向けて考えるのではなく、様々な変更があろうともその本質は「変わらないこと」に改めて注目すること、私たちは新式次第における変更の中でも、このことに気付くよう求められ



※日本カトリック典礼委員会発行の冊子
『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所—
2022年11月27日(待降節第1主日)からの実施に向けて』は
売店でお求めになれます。

★カトリック中央協議会のHPはこちらからどうぞ→



唱え方のヒント

ているのではないかと思えます。

前回は書きましたが、式文の変更は、決してこれまで実践してきたものが間違っていたから行われるものではありません。私たちが、ミサの本質をより豊かに味わうことができるよう手助けをしてくれるものです。11月27日(26日の夜ミサ)から、新式次第を適用することになります。今一度、私たちのあずかるミサ

とは何かを考え、ふさわしい気持ちでミサに臨むことができるように準備していきましょう。

普段あまり意識することのない「唱え方」ですが、実は細やかな心配りが求められています。今回、新しい式次第に、唱え方の注記が記載されました。主に司式者向けの解説ですが、私たち会衆が唱える際の参考にもなる部分をご紹介します。

◆カトリック中央協議会『新しい「ミサの式次第」と第一〜第四奉献文の変更箇所』から抜粋

【式文の唱え方の区別】

ミサの式文は、一律に同じように唱えるものではありません。式文の性質や祭儀の形態、荘厳さの程度などに応じた発声で唱えるようにします。早すぎたり遅すぎたりせず、聞き取りやすい速さで唱えることも大切です。

① 唱える (dicere)

もつとも一般的な発声で、会衆に聞こえるように唱

える場合の唱え方です。たとえば、十字架のしるしとあいさつ、回心の祈り、栄光の賛歌、公式祈願、信仰宣言、主の祈り、平和の賛歌、派遣の祝福などです。

② はっきりと唱える (clara voce dicere:acclamare)
ことばや祈りを強調する場合の唱え方です。たとえば、公式祈願の「アーメン」、聖書朗読の後、感謝の賛歌、秘跡制定句、奉献文の結びの「アーメン」、教会に平和を願う祈りなどです。

③ 歌う (cantare)

とくに司祭が唱え会衆がそれに答える部分、あるいは司祭と会衆が同時に唱えるべき部分が優先的に歌われます。たとえば、開祭のあいさつ、ミサの賛歌、答唱詩編、アレルヤ唱(詠唱)などです。

教会の動き

〈4月〉

3日 典礼奉仕者連絡会

ウクライナ人道支援募金開始

5月末に締め切り、募金総額34万
2376円は神言修道会宣教事務局
局を通して支援に使われます。

9日 駐車・駐輪許可証交付

ガールスカウト入団式(於 聖堂)

10日 受難(枝)の告白

14日 聖木曜日 71名参加

15日 聖金曜日 63名参加

16日 復活の聖なる徹夜祭、ミサ

聖堂145名、大ホール11名参加

17日 復活の主日

9時160名、10時半聖堂151名
大ホール32名参加

24日 ボーイスカウト入団式(於 聖堂)

〈5月〉

7日 教会委員会、財務委員会

8日 典礼奉仕者連絡会

15日 日曜学校始業式

17日 マリア会総会

〈6月〉

1日 ビジユ神父帰国

4日 教会委員会、財務委員会
5日 洗礼式、典礼奉仕者連絡会
12日 堅信式
24日 東京教区感染対策を一段緩和

〈7月〉

10日 ミサ参加の予約制は16日以降廃止
を決定。

司祭団の近況

最近、うれしかったこと♪



荒田神父
ポン・テ・リングを
たくさん食べたこと



ポスコ神父
共同体に助けられ、自
分も力を尽くして彼ら
を助けることができた
時



ビジユ神父
6月初めにインドから
帰国し、大勢の方の洗
礼と堅信に立ち会えま
した



後藤神父
現在は司祭館を離れて静
かな場所にて静養中で
す。うれしかったことは
ないけれど元気です。



ラティティア神父
スポンを買いに行った
店で好きな色の質がい
いものを見つけ、しか
も70%割で買えた



ソリス神父
秋田の友達がわざわざ
東京に来てくれて、
プレゼントをもらった
こと



アンディ神父
メッシが出るサッカー
の試合のチケットが当
たったこと

2022年度

キリスト教講座

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
第2・第4土曜日	15:30	キリスト教入門講座	(司祭団)	洗礼希望者	1階 中ホール
第2・第4日曜日	11:30	キリスト教入門講座	(司祭団)	洗礼希望者	1階 中ホール

※2022年度は9月開講予定、8月30日まで申し込み受付中です。

◆表紙絵の作者はシャロームの編集メンバーでもある水谷泰子さん。誰のことも否定せず、関心を持つこと、世界は神様の愛に満ちている、という思いで描いて下さいました。

◆作品募集中!

2ページのイラストは中学生の さんの作品です。絵を描くのが好きな方、連絡先を明記の上、いつでも作品を会館1階広報ポストに投函して下さい。シャロームだけではなく、掲示板の飾りなどにも使用いたします。

◆「フードバンクむさしの」にご協力を

昨年より会館1階応接室を使用して、毎週火・土曜日10時から15時の間、食品の寄付を受け付けています。贈答品で食べられないものなど、少量でも構いません。

詳しくは090-65509-2523、又は

<https://www.facebook.com/foodbankmusashino/>
なお、教会事務室ではお問い合わせにお答えできませんので
ご注意ください。

◆ご協力ありがとうございました!

吉祥寺教会でも新型コロナウイルス感染対策が緩和され、7月16日からミサ参加のための予約は不要となります。信徒の皆さんのこれまでのご協力に心から感謝を申し上げます。ウイルスがなくなるわけではなく、人の往来が増える夏休みにもなりますので、基本的な感染防止対策は守りつつお気軽にミサにお越しください。(7月10日現在)

◆シャローム次号は10月発行予定です。

(広報 T)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~17:00

※ 定休日: 月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

売店は当面土、日のみ開店

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日: 9:00 / 10:30 /

※ 第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜: 17:00 (主日のミサ)

■ 教会報 シャローム ■ NO.503 2022年7月31日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替: 口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

